

群馬県農業農村振興計画 2030

ともに創る！自然と経済の調和のもとに
成長する農業・農村



計画策定の基本的な考え方

将来ビジョンと施策展開

計画策定の趣旨



農業・農村を取り巻く環境が大きく変化する中、これを本県の農業・農村における構造転換の好機と捉え、本県農業の収益性の向上や環境との調和を図るとともに、農村の活力と魅力をさらに引き出すことで、将来にわたって持続的に発展する農業・農村を実現し、県民の生活に不可欠な食料の安定供給が図られるよう、新たな計画を策定します。

位置づけ



本計画は「新・総合計画（ビジョン・基本計画）」の目指す「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実感できる自立分散型社会」の実現に向けて、国の新たな「食料・農業・農村基本計画」との整合性を保ちつつ、本県の農業分野における最上位計画として位置づけています。

計画期間



令和8年度を初年度とし、令和12年度を目標年度とする5年間とします。

性格



本県の農業・農村の概ね10年先の将来を見据えて、計画期間における施策の方向性や具体的な目標を示す県農政推進の基本指針とします。

また、計画の目指す農業・農村の姿を実現するため、農業者、消費者、関係団体、行政機関がそれぞれの果たすべき役割に応じて、主体的な取組を進める上での協力・連携のための指針とします。

▶ 基本理念

魅力ある産業として発展し続ける力強い「**農業**」

県民の暮らしを支える活力ある「**農村**」

安全・安心な「**食**」を安定提供する「**農業**」「**農村**」

▶ 農業・農村の目指すべき姿

農業の姿：
将来に希望がもてる
収益性の高い農業への構造転換

現役世代がやりがいと誇りを感じられる農業
若い世代に職業として選ばれる魅力ある仕事としての農業

農村の姿：
未来につなぐ
活力と魅力あふれる農業・農村

地域内外の人々が集い・支える活力ある農村
多種多様な新たな農業人材が活躍する魅力ある農村

▶ 基本目標

農と食に関わるすべての人の相互理解のもと、本県の農業・農村の可能性を最大限に引き出し、持続的に発揮することで、県民の誰もが農業・農村の魅力と豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開します。

ともに創る！

自然と経済の調和のもとに成長する農業・農村

▶ 総合指標

1 農業経営体あたりの
生産農業所得[※]

(農業産出額

(農業経営体数

R6

564万円

2,868億円

17,800経営体

R12

780万円

3,000億円)

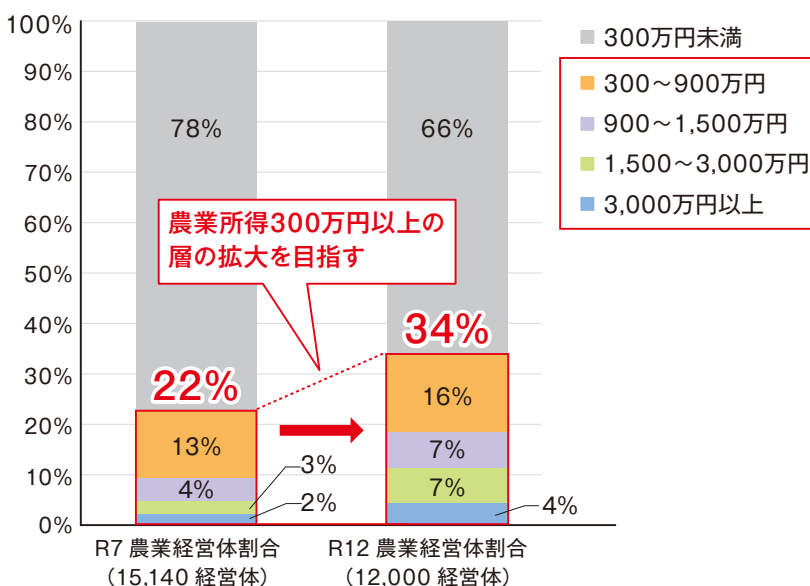
12,000経営体)

※生産農業所得：農業生産から生み出された付加価値を表す指標。農産物の産出額から経費を差し引いたもの

▶ 農業構造の展望

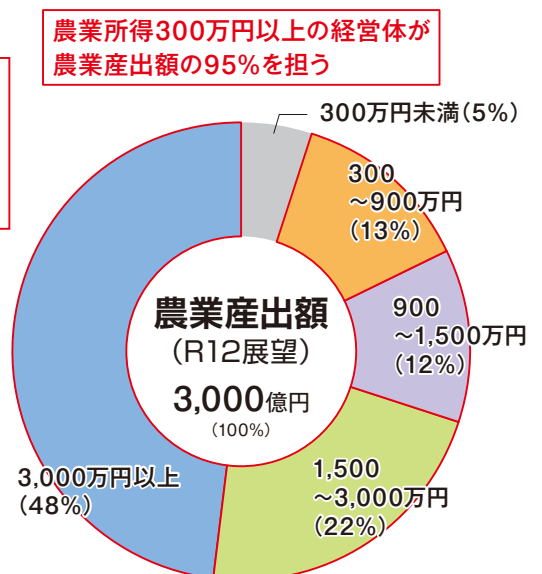
農業経営体数や耕地面積が減少する中で、新規就農者の確保・定着支援や担い手への農地集積・集約化により、生産基盤の脆弱化を食い止めるとともに、生産性向上や付加価値向上の取組を進めることで、農業者の所得向上を図り、農業所得300万円以上の農業経営体割合の拡大、また、そうした層が農業産出額3,000億円の大半を産み出す農業構造を目指します。

■所得階層別[※]の農業経営体割合 (R12展望)



■農業産出額3,000億円を担う

所得階層別の産出額の割合 (R12展望)



※各階層の農業所得は、農林業センサスの農産物販売金額の階層に生産農業所得統計 (R2~R6) から試算した所得率 (31.1%) を乗じたもの

基本目標：ともに創る！自然と経済の

施策の柱

I

多様な担い手の確保・経営基盤の強化

【人・農地】

- ① 多様な担い手の確保・育成
- ② 次代を担う経営感覚に優れた農業経営体の育成
- ③ 地域計画に基づく農地利用の最適化と農業生産基盤整備の推進
- ④ 農地・農業水利施設等の適切な保全管理の推進

施策の柱

II

技術革新で切り拓く

新たな群馬県農業【生産性向上】

- ⑤ 新たな需要を捉えた競争力のある園芸産地の育成
- ⑥ 国際競争に打ち勝つ強靱な畜産経営の確立
- ⑦ 地域の特性を生かした持続的な水田農業の展開
- ⑧ 気候変動や技術革新を見据えた新たな農業モデルの構築

施策の柱

III

需要を的確に捉えた選ばれる

農畜産物としての地位確立【需要拡大】

- ⑨ 県産農畜産物の「強み」を生かした魅力発信
- ⑩ 世界で戦える農業者の育成を通じた農畜産物の輸出促進
- ⑪ 地産地消の推進による域内経済循環の活性化と県産農畜産物への愛着醸成
- ⑫ 安全確保策に基づく安全・安心な農畜産物の提供

人・

将来に希望がもてる**収**
未来につなぐ**活力と魅**

生産性向上
需要拡大

持続可能な
再

調和のもとに成長する農業・農村



施策の柱

Ⅳ

環境と調和した農業・農村の 持続的発展【環境との調和】

- ⑬ 環境負荷低減・資源循環型農業の推進
- ⑭ 有機農産物への理解促進と販路拡大
- ⑮ 農村の多面的機能の維持・発揮に向けた支援
- ⑯ 官民共創による効果的な鳥獣被害対策の推進

施策の柱

Ⅴ

多様な地域資源を活用した 農村の活性化【農村の価値創出】

- ⑰ 多彩な地域特産物の生産振興
- ⑱ 関係人口の拡大・深化や共同活動による農村の活性化
- ⑲ 食と農への理解醸成
- ⑳ 農業・農村の持続的な発展に向けた防災・減災対策

農業構造の 構築

多様な担い手の確保と 経営基盤の強化【人・農地】

10年後に目指す農業・農村の姿と実現に向けた施策

- ① 経営発展段階に応じた支援体制が確立され、農業を志すすべての人が本県での就農に魅力を感じ、本県で農業を営むすべての人が意欲をもって働ける環境が整備されています。
- ② 規模の大小や個人・法人の経営形態にかかわらず、農業で生計を立てる多様な担い手が、安定した経営基盤を確立し、地域農業の持続的発展を牽引しています。
- ③ 地域住民との合意のもとに担い手への農地集積・集約化が進み、省力・効率的かつ収益性の高い農業が営まれています。
- ④ 農業者や地域住民からなる地域コミュニティにより、農地や農業水利施設が適切に維持・管理され、農業生産を支える農地や水が安定的に供給される体制が整備されています。

施策1 多様な担い手の確保・育成

重点 新規就農者の確保及び早期経営安定支援 ◇ 人材育成のための農業教育の充実

◇ 農業版企業誘致の促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
新規就農者数(65歳以下)	KPI 人	236	240
農業参入した企業数	法人	114	150



企業参入による遊休農地の再生

施策2 次代を担う経営感覚に優れた農業経営体の育成

重点 力強い担い手の育成

◇ 地域農業を牽引するリーダーの育成と活動促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合	KPI %	22.4	34.0
農業経営士 新規認定数	人	9	45(5力年累計)
農業経営体に占める家族経営協定を締結した経営体の割合	%	11.8	17.0



農業経営士等を対象とした研修会

施策3 地域計画に基づく農地利用の最適化と農業生産基盤整備の推進

重点 地域計画の実現に向けた伴走支援 **重点 農業生産基盤整備の推進**

◇ 遊休農地の発生抑制と再生利用支援 ◇ 農地制度による優良農地の確保

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
担い手への農地集積率	KPI %	44.1	58.0
生産基盤整備を契機に担い手へ集積する農地面積	KPI ha	505	600
再生利用した農地面積(令和元年からの累積)	ha	1,735	3,250
農用地区域内の農地(耕地)面積	ha	57,169	54,000



農業生産基盤整備事業の推進

施策4 農地・農業水利施設等の適切な保安全管理の推進

重点 農業水利施設の保全による農業用水の安定供給

◇ 農地・農業水利施設等の保全

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数	KPI 地区	26	34



農業水利施設の保全対策

技術革新で切り拓く 新たな群馬県農業【生産性向上】

10年後に目指す農業・農村の姿と実現に向けた施策

- ① 意欲ある担い手により市場の需要を捉えた戦略的な農業経営が営まれ、競争力のある園芸産地が形成されています。
- ② 家畜の能力向上と県産畜産物のブランド力の強化、スマート農業技術の導入による経営の効率化、飼料自給率の向上により生産性の高い強靱な畜産経営が確立されています。
- ③ 地域の実情に即した、大区画化や先端技術の導入による効率化・省力化、高収益作物や飼料作物等の導入、高品質化や有機栽培などによる差別化が進み、持続的な水田農業が営まれています。
- ④ スマート農業技術の導入や、官民共創により生み出される革新的な技術や発想により、本県農業の生産性が飛躍的に向上し、農業が儲かる・魅力ある産業として若い世代に認識されています。

施策1 新たな需要を捉えた競争力のある園芸産地の育成

重点 儲かる野菜経営の確立 ◇ 競争力ある園芸産地の育成と生産基盤の強化（果樹、花き、菌床きのこ）

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
野菜産出額 KPI	億円	1,042	1,150
観光直売主要3品目の1経営体あたりの農業産出額(りんご、ぶどう、日本なし)	万円	515	586
果樹改植・新植面積(累計)	ha	50.4	78.0
花き産出額	億円	55	60
きのこ産出額	億円	56	60



野菜振興に向けた戦略の3本柱

施策2 国際競争に打ち勝つ強靱な畜産経営の確立

重点 家畜の伝染性疾病の発生予防とまん延防止の徹底 **重点 生産基盤の強化と畜産物の安定供給(酪農)**

◇ 生産基盤の強化と畜産物の安定供給(肉用牛、養豚、養鶏、飼料生産、畜産経営) ◇ 地域と調和した畜産経営の確立

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
1戸あたりの生乳生産量 KPI	t	598	730
歩留基準値(和牛去勢)	—	76.3	76.6
1戸あたりの豚飼養頭数	頭	3,747	4,047
飼料自給率(酪農ベース)	%	38.7	39.2
高糖分高消化性飼料用イネ作付面積	ha	172	280



浅間家畜育成牧場での技術研修

施策3 地域の特性を生かした持続的な水田農業の展開

重点 ぐんま版「水田フル活用」の推進 ◇ 売れる米づくりの推進

◇ ニーズに応じた高品質な麦生産

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
直播等省力栽培による水稻作付面積 KPI	ha	122	500
小麦生産量	ha	23,300	23,500
全国におけるさとのそらの農産物検査数量割合	%	5.3	6.0
ゆめかおりのタンパク質含有率	%	12.4	13.0以上



乾田直播栽培の様子

施策4 気候変動や技術革新を見据えた新たな農業モデルの構築

重点 地域農業の実情に即したスマート農業技術等の技術開発・普及推進 **重点 温暖化等の気候変動に対応した技術開発・普及推進**

◇ セーフティネット対策の強化による農業経営の安定 ◇ 農業生産工程管理(GAP)の導入推進

◇ 農作業安全対策の推進 ◇ スタートアップのもつ革新的技術の実装促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
水田作におけるスマート農業機械導入経営体数 KPI	経営体	109	130
関連する研究成果数(スマート農業等生産性向上)(過去5年累計)	件	53	53
果樹におけるスマート農業機械導入経営体数	経営体	4	15
水稻高温耐性品種作付面積 KPI	ha	850	2,000
関連する研究成果数(気候変動対策)(過去5年累計)	件	16	26
園芸施設共済加入率	%	63.8	75.0
農業収入保険加入者数	人	1,886	2,400
GAP第三者認証取得経営体数	経営体	190	225
農作業死亡事故件数(1~12月)	件	2	0
スタートアップとの連携による実証事業実施件数	件	18	54



いちご自動収穫ロボットの实証

需要を的確に捉えた選ばれる農畜産物としての地位確立【需要拡大】

10年後に目指す農業・農村の姿と実現に向けた施策

- 1 県産農畜産物がもつ魅力や品質が消費者に評価されることで、本県のイメージアップにつながり、安定した販路が確保され、農業者の所得向上にもつながっています。
- 2 海外市場まで視野に入れた「世界で戦える農業者」が、県産農畜産物の魅力を国内外に発信することで、世界で選ばれるぐんまブランドが確立されています。
- 3 農業が地域に果たす役割や、本県で生産される多彩な農畜産物が幅広い世代に理解され、県民が県産農畜産物を選択購入することで、地域経済の発展につながっています。
- 4 すべての農業者が、農畜産物の安全性確保のために必要な取組を理解し、実践することで、県産農畜産物が市場や消費者に信頼され、消費拡大につながっています。

施策1 県産農畜産物の「強み」を生かした魅力発信

重点 県産農畜産物の「強み」を生かした需要拡大 ◇ 産地としての群馬県のイメージ向上
◇ 多様な地域資源を活用した付加価値の創出

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
群馬県産農畜産物を「買いたい」「食べたい」と考えている消費者の割合	KPI %	38.2	50.0
G-アナライズ&PRチームによる発表品目数(累計)	品目	9	15
県産農畜産物PR動画の年間視聴回数	回	83,558	100,000
県産農畜産物紹介サイトの閲覧数	回	359,270	400,000
群馬県農政部公式SNSフォロワー数(Instagram)(累計)	人	3,485	5,000
農業生産関連事業年間総販売額(6次産業化総合調査)	百万円	63,824(R5)	68,500



Gアナライズ&PRチームによる魅力発信

施策2 世界で戦える農業者の育成を通じた農畜産物の輸出促進

重点 「群馬県農畜産物等輸出促進戦略」に基づく海外販路拡大
重点 輸出に取り組む生産者の育成とチャレンジへの支援

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
県産農畜産物等の輸出金額	KPI 億円	18.6	22.6



ぐんまグローバルファーマー育成塾

施策3 地産地消の推進による域内経済循環の活性化と県産農畜産物への愛着醸成

重点 地産地消の推進による県民の県産農畜産物への愛着醸成
◇ 地域の郷土料理等の食文化への理解促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
ぐんま地産地消優良店認定店舗数	KPI 店舗	102	110
郷土料理や、伝統料理など地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を知っている県民の割合(20歳以上)	%	41.8	60.0%以上

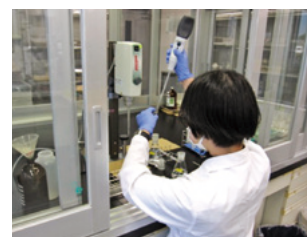


ぐんま地産地消推進店

施策4 安全確保策に基づく安全・安心な農畜産物の提供

重点 農業の適正使用と危害防止対策の推進 ◇ 生産農場段階における畜産物の安全性の確保
◇ 農畜産物の検査・確認体制の充実 ◇ 食の安全に関する相互理解の促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
農産物等安全検査の適正割合	KPI %	100	100
農業適正使用推進員及び農業管理指導士認定者数(累計)	人	5,712	6,050
動物用医薬品販売業者への立入検査割合	%	34.5	33以上
SNSによる食の安全情報の定期発信回数	回	52	52以上



農産物等安全検査

10年後に目指す農業・農村の姿と実現に向けた施策

- 1 地域資源や農業由来の有機質資源の活用が進み、農業の持続可能性と経済的成長を両立した循環経済（サーキュラーエコノミー）が確立されています。
- 2 農畜産物の生産から消費まで、各段階の関係者が環境に配慮した取組を相互に理解し実践する、地域ぐるみの持続可能な食料システムが形成されています。
- 3 地域コミュニティによる共同活動を通じて多面的機能が最大限に発揮され、持続可能な農業生産と地域住民の豊かな暮らしを両立した農村が構築されています。
- 4 官民が一体となった地域ぐるみの鳥獣被害対策により、農業者が安心して営農できる・地域住民が安心して暮らせる環境が整備されています。

施策1 環境負荷低減・資源循環型農業の推進

重点 環境負荷低減・資源循環型農業への転換推進

- ◇ 高い生産性と環境負荷の低減を両立した生産体系への転換
- ◇ 肥料・飼料の国産化による資源循環型農業の推進
- ◇ 食品リサイクルへの理解醸成と取組促進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
みどり認定者(ぐんまエコファーマー)実人数	KPI 者	1,103	1,500
関連する研究成果数(環境負荷低減・資源循環型農業) (過去5年累計)	件	23	27



有機農業現場見学会

施策2 有機農産物への理解促進と販路拡大

重点 有機農産物に対する理解の醸成

重点 有機農産物の販路拡大・新規需要開拓

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
有機JAS認証取得者数	KPI 者	80	120



有機農業体験ツアー

施策3 農村の多面的機能の維持・発揮に向けた支援

重点 共同活動による多面的機能の維持・発揮

- ◇ 中山間地域の農業生産活動の支援

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	KPI ha	19,501	22,600
中山間地域等直接支払交付金活用面積	ha	1,415	1,350



地域住民と大学生による水路清掃

施策4 官民共創による効果的な鳥獣被害対策の推進

重点 官民共創による効果的な鳥獣被害対策の推進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
野生鳥獣による農作物被害額	KPI 億円	3.4	1.7
年間捕獲頭数(ニホンジカ)	頭	15,320	18,000以上
年間捕獲頭数(イノシシ)	頭	5,785	5,000以上



侵入防止柵の設置

多様な地域資源を活用した 農村の活性化【農村の価値創出】

10年後に目指す農業・農村の姿と実現に向けた施策

- ① こんにゃくいもや蚕糸など特色ある農産物が、本県の文化や歴史に紐づく固有の価値として認識され、県内外で高い評価を得ることで、農業者の意欲や所得向上、地域経済の活性化につながっています。
- ② 農村が、農業生産だけでなく、豊かな生活の場や訪れる人々の交流や経済活動の場として維持され、活力や経済的な潤いをもたらされることで、農業・農村が持続的に発展しています。
- ③ すべての県民が、食料生産の場としての農業・農村の重要性を理解し、日々の食生活の中で農業の現場を意識することで、農業者と消費者、その他すべての関係者の相互理解のもとに、合理的な価格形成や持続可能な食料システムが実現されています。
- ④ 農業用ため池など農業水利施設の防災・減災対策とともに、緊急時の避難行動等の対応策が周知されることで周辺地域の防災力が向上し、住民の誰もが安心して暮らせる農村地域が形成されています。

施策1 多彩な地域特産物の生産振興

重点 日本一のこんにゃくいも産地の維持・振興に向けた経営安定化と消費拡大

◇ 多彩な特産物の生産による活力と魅力ある地域づくり（薬用作物、養蚕、水産、きのこ）

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
こんにゃくいも栽培に占めるほ場越冬栽培面積割合 KPI	%	2.9	5.0
こんにゃくいも複合経営推進品目導入面積(加工用ばれいしょ、ねぎ)	ha	32	100
こんにゃくの都市別1世帯あたり家計消費量(試算)	g	5,531	6,100
順位(対象:前橋)	位	8位	4位以内
薬用作物トウキの生産量	t	127	170
県産繭生産量	t	15	22
養蚕の新規参加者数(R6年からの累計)	人	2	20
超絶サーモン軍団総生産量(ギンヒカリ、ハコスチ、超絶サーモンV3)	t	36.5	90.0
県内河川への県産アユの放流割合	%	63.5	65.0



複合作物の導入
(加工用ばれいしょ)

施策2 関係人口の拡大・深化や共同活動による農村の活性化

重点 農村の魅力発信による関係人口の創出

◇ 関係機関と連携した就農による移住・定住の促進と多様な人材を巻き込むことによる地域コミュニティの活性化

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
農泊ツアー商品を造成した市町村数 KPI	市町村	0	5



ぐんま農泊モデルコース
「農泊×養蚕」PR動画



施策3 食と農への理解醸成

重点 農業体験や学校給食を通じた農業・農村への理解醸成 ◇ 食農教育の推進

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
学校給食における県産食材利用割合(金額ベース) KPI	%	64.8	維持
食農体験学習をしている幼稚園の割合	%	96.4	100
食農体験学習をしている保育所の割合	%	92.5	100
食農体験学習をしている認定こども園の割合	%	94.7	100



農業体験

施策4 農業・農村の持続的な発展に向けた防災・減災対策

重点 防災重点農業用ため池の強靱化

◇ 農村地域の防災・減災対策

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
優先度の高い防災重点農業用ため池における防災工事に着手したため池数 KPI	箇所	34	75



農業用ため池の防災・減災対策

地域プロジェクト

地域農業の特色や課題に沿った「地域プロジェクト」を設定し、人・農地、生産技術、地域資源等を組み合わせながら、関係者が連携して取り組みます。

中部地域

A 麦産地としての強みを生かした水田農業の活性化

スマート農業技術の導入や農地集積により集落営農組織の経営力を強化し、水田農業の活性化を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
集落営農組織の麦作付面積の集約化	%	63	66
集落営農組織におけるスマート農業導入率	%	31	40



農業用ドローンを活用した麦の追肥

B 安定的・持続的な畜産経営の実現による畜産産地の維持・発展

耕畜連携による資源循環型農業の推進、生産基盤整備や防疫体制整備による持続可能な畜産産地の維持・発展を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
飼養頭数3,000頭以上の養豚農家の割合	%	23	37
飼料作物(WCS用イネ、飼料用麦、飼料用とうもろこし)の作業受託面積	ha	378	393
特定家畜伝染病発生件数	件	2	0



家畜伝染性疾病的精密検査

C 社会ニーズに対応した選ばれる園芸産地の育成

選果施設の利用による生産性向上、環境負荷低減の取組と見える化を推進し、消費者や実需者から選ばれる園芸産地を育成します。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
選果施設を活用した共同出荷量	t	12,046	12,480
みどり認定者(ぐんまエコファーマー)実人数	者	83	382



なす・きゅうり選果施設

西部地域

A 松義台地・横野平の畑作振興

こんにゃくいもの低コスト栽培技術や複合作物の導入、農地集積により、持続可能な畑作経営と農地の有効活用に向けた総合的な支援を行います。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
松義台地・横野平周辺地域の担い手への農地集積率	%	30.0	44.0
こんにゃくいも複合作物の新規導入面積	ha	0.5	12.5

松義台地(まつぎだいち)…安中市松井田町と富岡市妙義町にまたがる畑作地帯



松義台地の畑作地帯

B 多角的な支援による果樹産地の活性化

担い手の確保・育成、果樹園の改植・新植推進、大学等と連携した認知度の向上と販売力強化により、県内一の果樹産地の活性化を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
担い手受入協議会の設立	件	0	1
果樹(うめ、日本なし、キウイフルーツ)改植・新植面積	ha	18.8	34.0



やま・さと応援隊(うめ収穫作業研修)

地域プロジェクト

吾妻地域

A あがつま農業リデザイン計画：人材確保と地域価値の再創造

新規就農者の受入体制整備、中心経営体の活動支援、こんにやくいも生産者の複合経営推進、農業水利施設等の保全対策により、持続可能な地域農業を構築します。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
受入協議会の活動による新規就農者数(累計)	人	17	24
複合経営品目導入者数	人	0	4
ため池の整備数	箇所	0	8



農業青年活動支援

B 吾妻西部地域の大規模産地の産地カステップアップ

スマート農業技術の導入やスタートアップとの連携により、生産性向上、環境負荷低減を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
緑肥等作付面積	ha	421	500
吾妻西部のキャベツ出荷量(JA取扱い)	万t	19.6	19.6



スタートアップと連携した技術実証

利根沼田地域

A 野菜生産でのスマート農業及びGAP導入による生産性の向上

AI・IoTを活用したスマート農業技術やGAPの導入により、生産性向上と技術の見える化に取り組み、新規参入者や後継者の確保・定着を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
スマート農業技術*の導入 ※農林水産省「スマート農業技術カタログ」掲載技術及びそれに準ずる技術	種類	5	10
新規就農5年以内のスマート農業技術導入経営体数	経営体	0	8
GLOBALG.A.P.取得農場	農場	54	79



養液土耕栽培研修会

B オーガニックビレッジを核とした環境負荷低減・資源循環型農業の推進

管内市町村と連携して、農業者や消費者の有機農業や資源循環型農業への理解醸成を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
オーガニックビレッジにおける「みなかみスタイル倶楽部」会員数	人	3	40
みどり認定者(ぐんまエコファーマー)実人数	者	64	86



有機栽培研修(野菜)

東部地域

A 水田施策の見直しに伴う水田・畑作の生産性向上

農地の大区画化やスマート農業技術の導入、企業参入の促進により、水田農業の生産性向上を図り、収益性の高い農業の実現を目指します。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
水稻高温耐性品種作付面積	ha	704	1,500
新たに整備する農地面積	ha	11	81
乾田直播面積	ha	25.9	65.0



自動給水栓の実証

B 地域資源を生かした中山間地域の振興

酒米等の新規品目の導入による遊休農地の発生防止や、野生鳥獣による農作物被害対策の推進により、中山間地域の活性化を図ります。

目標指標	単位	R6(基準年)	R12(目標年)
酒米栽培面積	ha	11.5	15.0
アスパラガス栽培面積	a	15	45
遊休農地解消面積	ha	6.0	9.0
ニホンジカの有害捕獲頭数(うち食肉向け頭数)	頭	1,445(163)	1,900(326)



桐生・みどりの地酒と酒米作付状況

群馬県農政部農政課

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号
TEL. (027) 223-1111 (代表)

群馬県農業農村振興計画2030の詳しい情報は
群馬県HPからご覧ください。

(URL : <https://www.pref.gunma.jp/page/750836.html>)

